

11/16月  
開催

# 「中小企業のためのクラウド活用術」セミナー

11月16日、「中小企業のためのクラウド活用術セミナー」が、コロナウイルス感染防止対策の観点から、オンラインで開催されました。中小企業のクラウド導入率がまだまだ低い状況の中、なぜデジタルシフトが難しいのか、その真実と乗り越える具体的な方法について講師を招いてお話をいただきました。

14:00  
～  
15:15

セミナー1

## 2021年をデジタル改革の年にしよう!

～クラウドサービス活用の最新実践事例～



つづく株式会社  
代表取締役

井領 明弘 氏

広島県神石町出身、1991年生まれ  
(株)NTTデータイントラマートにて大企業向けの基幹システム・ワークフローシステムのコンサルタントを経験した後、freee(株)にてクラウドサービスの導入支援、マーケティング等を経験。その後、長野県にて中小企業向けクラウドサービスのIT戦略立案、導入支援を行う「つづく株式会社」を創業。現在に至る。

### ITはあくまで手段である 道具の電子化に合わせた働き方を

ITは2010年以降に転換点を迎え、今はクラウドサービスをインターネットで購入して組み合わせて使う。日本中どこにいても同じサービスが受けられ、中小企業でもデジタルツールが使える時代となった。しかし何のためにデジタル化するかという議論がないとプロジェクトは失敗する。

「デジタル化は義務付けられたものではないし、やらなくてもいい」と井領氏。経営者が目的・ゴールをしっかりと定め、それを社内で共有する。そしてゴールを目指すうえで見えた課題を深く理解・調査し、分析して小さな領域から少しずつ改善していく。「大事なものは『今の仕事に合うツール』ではなく、

『時代に合わせた働き方に改革しつつ、その課題に合わせたツール』を導入することです」と話す井領氏。

最新のクラウドシステムはセットアップやプログラミングといった工程が必要なく、「システム管理やプログラムの知識がなくても、企業の情報システム担当者が一人で運用管理できるのがクラウドの利点です」と井領氏。利益活動の主体はあくまで人間。日々の勤怠管理や給与計算などの会計管理といった単純作業はデジタルに任せ、企画や営業、マーケティング戦略・IT戦略といった付加価値の高い仕事に人間がコミットできる会社にしていくことが大事である。

15:30  
～  
16:00

セミナー2

## 「一人情シス」を助けるAWS(\*)のはじめかた

～移行・セキュリティ・運用編～



東日本電信電話株式会社  
ビジネス開発本部 クラウドサービス担当

白鳥 翔太 氏

2009年NTT東日本入社。  
ネットワークエンジニアからセールスを経験し、現在はプロダクト開発(クラウド導入・運用サービス)を担当。

### 170以上のサービスを内包した「AWS」の導入や移行をサポート

IT専担者がいなく、社内の情報システム管理に課題を抱える中小企業が多い。「NTT東日本ではAWSの導入から運用までをトータルでサポートしており、中小企業の課題解決にAWSを役立てて」と白鳥氏。

デジタル化の第一歩目は業務目的に合わせてクラウドの選択。オンプレミス(自社運用)からAWS(クラウドサービス)に変えることで、高いセキュリティや安定したパフォーマンス

が発揮でき、BCP対策にもなる。

いまやクラウドサービスは誰でも使える環境になっている。ITで何ができ、何が実現されれば幸せなのかを理解して使うことが重要だ。

(※)AWS(アマゾン・ウェブ・サービス)

アマゾンが提供するクラウドサービス。従来社内に設置していたファイルサーバーやWebサーバーの機能を持ち合わせており、クラウド上での運用が可能になる。